

# スカウトだより

発行 / ボーイスカウト鳥取連盟米子第11団

第84号

令和3年11月23日発行

## ようやく活動再開だ!!



2021年9月23日 スカウトデーより

**ハイキングとは 自分の足で歩く**

ハイキング(Hiking)ということばは、もともとは19世紀初めのころのイギリスの言葉で、「てくてく、骨をおりながら歩く」という意味で使われていたという。

現在でも、ハイキングに出かけ、自分の足で長い距離を歩くと、つらいこともあるかもしれない。しかし、自然と存分に親しみ、自分の限界に挑戦することで得る喜びと充実感は、自分で歩いた者だけが味わえるものだ。さらに、ボーイスカウトのハイキングでは、8名前後の班ごとに行動して、観察と推理を中心にした、さまざまなプログラムを楽しみ、野外活動の知識や技能を身につけることができる。このように経験を積むうちに、つらいことも少なくなっていく。

ハイキングには泊まりがけでおこなうものもあるが、まず、日帰りのハイキングに出してみよう。ただし、どこに出かけるときでも、健康や安全の確保と自然の保護は忘れないようにしよう。

ハイキングの種類 自然研究ハイク、コンパスハイク、夜間ハイク、読図ハイク、信号ハイク、サバイバルハイク、親子ハイク 50キロ・100キロハイク、カメラハイク等、さまざまなテーマを決めて楽しもう。

ボーイスカウトフィールドブックより抜粋

# ボーイのひろば

## 【コロナ禍での思いや活動】

隊付 福住 陽路

今年も、新型コロナウイルス感染症のせいで、多くの活動が自粛、制限されました。特に夏の間は、全く活動ができなくなったため、皆で一生懸命準備をしてきた大山でのキャンプも中止になってしまい、とても悔しかったです。でも今は、前よりコロナも落ち着いてきて、10月には、県大会として、班でのキャンプもあります。このキャンプは、たくさん皆と話し合っ、実際に日南町のキャンプ場にも調査に行っ、計画したものなので、絶対に中止などと言うことにはなっ、ほしくないですが、10月も、県連からキャンプでの許可が出るか分からないので、まだ安心はできません。とにかく今は、一つ一つの活動を大切に、またいつかみんなでキャンプができる日が来るといいです。

**ファルコン班**

班長 三原 昊大

今はコロナ禍で隊集会やキャンプも制限され、皆で集まり活動する機会がとて、少なくなっ、てきています。そして



良いキャンプ案が出来るかな

県大会も中止かと思われ、ましたが、班ごとにハイクやキャンプなどを計画、実施し、まとめ、て提出して県大会をしようということになりました。

僕達の班では「野草採りキャンプをしよう」に決まりました。野草採りキャンプとはその

名の通り、野草を採り調理をするキャンプです。場所は日南町で行うことになりました。すると、調べていくうちに日南町はSDGsに関連したスポットだと分り、SDGsに関連した事しようとなりました。実施日がとて、楽しみです。

コロナ禍で我慢しなくてはいけないこともたくさんありますが、自分達で全てを計画する県大会は普段ならできない事です。このような状況だからこそできる事を楽しんで活動していきたいです。

次長 野坂 一平

8月29日、僕と三原君と福住君で、県大会キャンプの計画を立てました。

午前中、キャンプ場の下見にモクモクキャンプ場に行っ、て、サイトを貸りました。とて、もすてきなキャンプ場で、星や他にも自然が近くにあるキャンプ場でした。スカウトだよりを見た方、ぜひグランピングやキャンプにいらっ、してください。最高です。



SDGs にちなんアンブレラスカイ

その後、食材やまきのちよう、たつのため、日南町をたん、けんして、キャンプの計画を僕のおばあちゃん家でねりました。日南町のみり、よくを調べ、それをキャンプ計画にねりこみました。日南町ならでは、の、寄木細工やSDGsをキャンプの活動に入れたり、まきを日南町の道の駅で買う事にしたりして、地域と今まで以上に関連したキャンプ計画ができました。班員とこのキャンプができるように、コロナがこれ以上広がらないように、僕も班員も気をつけて活動しています。

このキャンプは、とて、楽しい活動になるので、僕はすごく楽しみです。このキャンプを通じ、て、地域や木や植物ととて、ふれあい、自然を大事にできるボーイスカウトになれるようにがんばります。

浅中 淳志

コロナ禍で活動があまりできない中で、キャンプにも行けず室内での活動も外での活動もできないですが、鳥取はと言うか米子はまだ割とコロナも少なくて少しだけ活動ができています。が、とととコロナを終わらせてマスク無しでキャンプができるようになればいいです。コロナ集結に向けて、一つ一つ、手洗い・うがい・消毒をしていきたいです。

丸山 虹翔

コロナでキャンプができなかつ、たので、隊長からキャンプめしを作るように宿題がありました。ぼくは、サバ缶でバンバーグを作ることにしました。なぜかという、と、缶づめは、保存食にもなるし、もちほ、こびもできて便利だからです。ハンバーグのひき肉のかわりにサバを使っ

て作りました。とてもおいしくできましたが、サバ缶を一缶つかったら、量が多くてたくさんできました。一人では食べきれなくてお父さんに食べてもらいました。ほかに、大好物のなめこ汁を作りました。ボリュームたっぷりで大満足のキャンプめしになりました。これからもいろんなキャンプめしを自分で考えて作っていきたいです。

### 寄川 大樹

1月からの活動で、ぼくは2級にしようかくしたいなと思いました。しようかくするために、地図記号や追跡記号や野草や料理をしてきました。でもコンパスや歩足や地図の見方などをやってないので、来年の1月までにおぼえてしようかくできるようにしたいです。

### 陶山 瑛次郎

ぼくがこれまでの活動で一番いんしょうがあったのが、すい事活動の時です。

はじめは、すい飯がうまくできなかつたのですが、だんだんとうまくやることができました。しかし、時に苦戦したのが風がふいている時でした。その時はマッチが着きにくかったり、火を着けても、火がすぐに消えてしまったりしました。でも、周りの仲間たちなどと協力してやることができ、やっと火が着くことができました。そして今は、一人でご飯はたけないけど、前より上達しました。

まだこれからも、日南もくもく村でのキャンプなどコロナ禍でもキャンプをすることがあるので、きちんと一人でできることをふやして、これからのキャンプや活動などに活して、2級章を取って野外活動にこうけんしていききたいです。

### 棚田 新

今年にボーイになったけど、新型コロナのせいでキャンプはもちろん集まることもできなくなっています。5月にやったソロキャンプは初めてやりました。いままでボーイスカウトは一つのテントに何人かでねていたの、すこしこわかったです。でも班の人とマジカルバナナをして楽しくできたことがうれしかったです。

最初は、いつも朝ごはんはほとんどたべないので残してしまいましたが、最近はふだんでもすこし朝ごはんをたべれるようになりました。会議などもリモートですが、キャンプの案などは、だいたい理解できました。記号や野草などの知識も必要なので勉強などをがんばっていこうとおもいます。

### タイガー班

#### 班長 山本 莉輝

このコロナ禍で今年の県大会は中止されました。そこで、県内各班でハイク・キャンプの活動を計画し、実施することになりました。初めは、漠然としていて難しそ

うだと思っていました。けれども、隊長や親の助言もあり、テーマが決まれば意外と良いスピードで進んでいったと思います。しかし、大変だったところも三つほどありました。

一つ目は、ボーイの活動だしコロナ禍でもあったから、しっかりとした計画で感染症、安全対策をとってしな



竹灯り製作中

そこではあまり慣れないパワーポイントを使い、オンラインで発表したところです。三つ目は、コロナの状況が悪くなり、急きょ活動を二つに分け、新しいガイドラインをてっ底しなければならなかったところです。

これを書いているのは、実施三日前ですが、「ようやく来たな」という感じです。どうか活動が楽しくそして安全にできることを願っています。

### 次長 陶山 慎太郎

ぼくが、タイガー班の次長になって九ヶ月がたちました。次長になったので、教わるから教えるになり、指示を出したり班長を補佐するなどの仕事ができ一段といそがしくなりました。

あと、二年生になり中学校の行事が多くなったことで、これない時が多くなったことやコロナの影響でできなくなったりしていたことがありました。ですが、まだまだあるので、コロナに負けずにがんばって次長という責務を果たしていきたいと思いました。

### 足立 将悟

僕は、スカウトのなかですごくズボラだと思います。自分でもいうのも変ですが、隊服の団号章や進級章、班別章などのぬいつけをたびたび注意されます。自分でもやってみますが、なかなかうまくできません。が、今思えばボーイスカウトにはいっていなかったら、自分でぬいつけるという経験もありませんでした。だからぼくは、上手にぬいつけれるようになりたいです。

ぼくは考えました。どうしたら上手にできるのか。そして母に聞いてみました。すると母は、「一人でできないと思ったら、ほかの人に助けを求めらんだよ。」といいまし

ればならなかったところ。二つ目は、計画の発表の場もあり、

そこではあまり慣れないパワーポイントを使い、オンラインで発表したところです。三つ目は、コロナの状況が悪くなり、急きょ活動を二つに分け、新しいガイドラインをてっ底しなければならなかったところです。

これを書いているのは、実施三日前ですが、「ようやく来たな」という感じです。どうか活動が楽しくそして安全にできることを願っています。

### 次長 陶山 慎太郎

ぼくが、タイガー班の次長になって九ヶ月がたちました。次長になったので、教わるから教えるになり、指示を出したり班長を補佐するなどの仕事ができ一段といそがしくなりました。

あと、二年生になり中学校の行事が多くなったことで、これない時が多くなったことやコロナの影響でできなくなったりしていたことがありました。ですが、まだまだあるので、コロナに負けずにがんばって次長という責務を果たしていきたいと思いました。

### 足立 将悟

僕は、スカウトのなかですごくズボラだと思います。自分でもいうのも変ですが、隊服の団号章や進級章、班別章などのぬいつけをたびたび注意されます。自分でもやってみますが、なかなかうまくできません。が、今思えばボーイスカウトにはいっていなかったら、自分でぬいつけるという経験もありませんでした。だからぼくは、上手にぬいつけれるようになりたいです。

ぼくは考えました。どうしたら上手にできるのか。そして母に聞いてみました。すると母は、「一人でできないと思ったら、ほかの人に助けを求めらんだよ。」といいまし

# ベンチャーの広場

た。  
今までぼくは人に声をかけるということをしなかったため、自分がどれだけ損をしていたかわかりました。これからは自分が困っていたら助けを求め、困っている人がいれば、声をかけるようにしたいです。

## 青砥 慶太

この間僕たちタイガー班は、緑水園で竹灯り作りをすることにしました。最近僕は体の調しも悪い日が多いので、行けるかどうか心配でした。当日は、がんばって行くことが出来ました。しかし、休みのスカウトが多く、僕と山本君と足立君の三人だけが来ました。本来五人分予約していたので、僕と山本君の弟たちもすることができました。僕がスカウトをしている間、家族は何をするのか迷っていたので、ちょうど良かったです。今回は元々ハイクの予定だったので、各班員に仕事に分り振られていました。コロナ禍でハイクは中止になったけど、係は残りました。僕はムードメーカーと写真係に任命されたけど、竹灯り作りがとても楽しくて、なかなか写真がとれなかったので、結局班長の山本君の方がたくさん写真をとったと思います。

竹灯り作りは、電動ドリルであけた穴を並べてもようを作ると中に入れた灯りの光が穴からこぼれておもしろいかけができるというようなものでした。もようには様々な

大きさの穴があったので、ドリルの先たんを交換していました。小さい先たんの方が時間がかかると思いきや、けずる面積が多い大きい先たんの方がすごく力が必要で、とてもむずかしかったです。

竹灯り作りの後、近くにミステリーハウスがあったので、みんなで行ってみま

落ち着いた綺麗な光です

した。下から上に流れる水道がおもしろかったけど、ハウスから出た時は、はき気がしました。この日は、ひさしぶりの楽しさでした。

## 浅中 悠大

ボーイに入ってはじめての活動はキャンプでした。どんなものだろうと不安と興奮と緊張が入り混じった気持ちだったけど、カブと大差は無く、昼のスキルが難しくなっただけで、ホッとしました。これからもたくさん参加して力をのばしていきたいです。

## 國谷陽成

僕が最近感じることは、ボーイスカウトの活動が制限されてる中でも、もっと活動が必要だと思いました。最近コロナ禍だったり、台風や豪雨などによる災害が各地で発生しています。なので、防災や助け合いの観点で、防災に関する情報収集や募金等の活動をもっと積極的に行う必要があると感じました。いつ災害などが起こるか分からないので、知識を身につけたり、情報を正しく知ることは大切だと感じました。また家には非常袋がないので、何が必要か調べ一式揃えてみたいと思います。

## 丸山 空翔

ベンチャー隊はほとんど活動していないので書くこと

があまりないので8月と9月に行った場所を紹介します！

僕は自転車が好きなのでよく友達と休みの日にサイクリングに行きます。



様々なところに行きました。この地図はベンチャーで企画予定のサイクリングコースのおおまかなコースです。スカウトと隊長で下見に行く際にコロナの関係で中止になってしまったので、少しおさまってから友達を誘って行きました。

島根県の方は交通量が多かったので少し遠回りをして安全なルートを行いました。暑い日だったので水分補給をこまめにしながら移動しました。コロナ禍なので水木しげるロードはあまり人はいなかったのですが、感染症対策でマスクをしてる時は最悪でした。汗でマスクの中が蒸れてとても気持ち悪かったです。自粛と運動不足で体力が衰えていましたが、なんとか家に帰れました。



最後にコロナウイルスで活動がなかなかできない中、ニュースでは毎日のようにでる感染者が当たり前になっているので、2023年の世界ジャンボリーに向けて日々気をつけて行動しましょう！

# カブ隊の広場

熊スカウトになって 青砥大誠

ぼくは今日はじめて熊スカウトとしてかつどうしました。今日は早めにきて旗を上げたり下げる練習をしました。おもったよりかんたんでした。そのあとにほかの人が来ておにぎりを作りました。ぼくはたく人だったのにほとんどなにもしませんでした。おにぎりはおいしかったです。はんごうをあらうのはたいへんでした。

今年ではちゃれんじしょうをいっぱいとりたいです。キャンプがたのしみです。いままでは家でカブスカウトのべんきょうはしていなかったのが家でしたいです。ほとんどのこをおぼえたのできあいががあります。



前田健太

4月18日におにぎり作りをしました。こないだできなかった、旗上げなどの練習のために、1時間ぐらい、早く集まって、くま以外は、いませんでした。旗上げなどは、かぎられた時間で覚えるのがむずかしくて、覚えられそうにありませんでした。その後、いすやテーブルのじゅんぴをしました。その後の米のじゅんぴをやって、火をつけるためにマッチを使おうと思いましたがあまく火がつかず、ライターを使いました。米がたけてテーブルといすは使わずハウスの中で食べました。最後に旗を下げました。最近で一番うまいといわれてうれしかったです。今年の目標は旗上げなどのことをがんばる事です。



野坂太一

ぼくは今日楽しかったことは、みんなで楽しくおにぎりを作れたし、みんなで助け合ってぐざいを作って、たいへんだったけど、おいしいおにぎりができてよかったです。そのあとのかたづけでは、使った皿やうつわなどをせんざいをつけたり、水であらったり、ふいたりしてかたづけをしました。ぼくはふくのをやっていて、体けんのゆうせいくんといっしょに手ばやくきれいにふけたと思います。二人でかたづけをがんばりました。

ぼくがカブでやってみたいことは、やったことがないことや、少ししか知らないことなどにチャレンジしたいと思いました。なぜかという、何かにチャレンジしてせいこうしなくても、けいけんに生かせるし、何かのきかいにやくに立つことができそうだからやってみたいと思いました。

## カブベン作り 山中はると

スカウトハウスでカブベン作りをしました。くまの2人がごはんをたいて他の人は具ざいの準備をしました。具は、うめぼしとシーチキンと、こんぶと、のりがありました。ぼくは、おにぎりを5こ作りました。自分で作ったおにぎりはおいしかったです。しるや鳥のからあげも食べておいしかったです。

カブスカウトでカヌーをしたいです。おもしろそうだからです。



## カブベンづくり ふくずみたまき

隊集会でカブベンづくりをしました。わたしは2かいめです。あめとかげでひがつかせませんでした。でもたいちようとおとぼががんばりました。ずっとひをみてたけどできませんでした。おいしかったですよ。



## ここうつさこうたろう

今日は、みんなでおにぎりをつくりました。おにぎりはお米をたくことからラップでつつんでにぎるまでしました。ぼくは、おかずをまぜておかずをつつたり、わけたりしました。おかずのしゅるいはさまざまで、おいしそうなものがたくさんありました。米もたけるじゅんぴができたか

と思いきや、外はパラパラ雨がふっていました。マッチつかず、ライターつかずで、お米はたけないかと思ったけどようやく火がついたかんじでした。お米がたけるまで10分~20分まってお米がたけました。お米をラップの上におかずをつめて、あつあつのおにぎりを、おいしくなると、手をやけどしないことをいのつてにぎりました。上手に、丸と三角のものができました。みんな、みそしるもつくっていただきますをしてあつあつおにぎりを食べて味はとてもおいしかったです。さまざまな味のおかずが入っていてとてもおいしかったです。さいごはしょつきをきれいにあらいました。おにぎりを一からつくることはときどきしかできないと思ったので上手に楽しくできてよかったです。

一年間の目標はカブスカウトの友だちと仲よくして、ふつう、できないことを学んで一年間カブスカウトのやり方をおぼえてカブスカウトをがんばっていきたいです。

## ようがんトンネル 青砥大誠

今日はようがんトンネルに行きました。ぼくがしゅうごうばしょについたときとてもわくわくしていました。第二ようがんトンネルについたときそこにいた人が、小さなかぶとむしや小さなエビのことをはなしていました。おもしろかったです。中にはいったときはさむかったです。やねがあるところがあってあんしんしました。でたあとに第一ようがんトンネルにむかいました。とちゅうでまちがえたのがざんねんでした。そしてもどりました。ぼくはようがんトンネルにいったのしかったです。だけどエビをみつけられなくてざんねんでした。



前田健太

5月23日に大根島に行きました。最初はみんなでバスやJRを使っていくつもりだったけど、個人で車かバスやJRを使っていくことになって、僕は車で行くことにしました。

大根島に現地集合したらよう岩トンネルに行きました。よう岩トンネルには、いろいろな生物がいるという話を聞いたけど見つけれませんでした。次にいったときには見つけたいです。



野坂太一

今日はようがんトンネルに行っているいろいろな発見をしました。一つめは、めずらしい植物などがあることです。とても細長くて見えにくかった根っこのような植物や、日本でも3か所しか見られないエビなどがいてスゴイと思いました。2つ目はふんかこうがどうくつにつながっていることです。ようがんが流れたあとなどのこっていてすごいと思いました。

このようにぼくは、今回でいろんなことが知れたし、めずらしいところを見ていろんなことが分かりました。また調べてみたいです。



こうつさこうたろう

きょうぼくは、しまね県の大こんじまのよう岩トンネルに行きました。ぼくは、ようがんトンネルの中にも生き物があるとわかりました。中は少し水がたまっているところもあるし、よう岩がながれていったあとも、ありました。

よう岩トンネルはくどうがひろがっていておくまでつづいていました。もう一つのよう岩トンネルは水がとてたままっていて、進入禁止だったけど見る事ができました。そこは葉っぱがものすごく生えていて、ぼくはすごいなと思いました。そのよう岩トンネルは入ることができなくて、ざんねんだったけど見学できてよかったなと思いました。今日は2つのよう岩トンネルを知ることができてよかったです。



隊長のぼやき

いよいよキャンプを明日に控えた7月16日の午後、団委員長からの電話がなった。珍しい方からの電話なので何のことかなと思いつつ電話を取った。コロナの急拡大により当分の間一切のスカウト活動を停止する旨の電話だった。伝える団委員長もつらかっただろうが明日を楽しみにしているスカウトたちの気持ちを思うと残念で仕方なかった。

とりあえずメールを流し返信のない方には電話を入れた。体験参加予定の方もありその方にも電話をした。やむえない判断とは思うが何とかならなかったのかとも思っても強かった。

昨年もキャンプはしておらずくまスカウトの中にはカブ隊でのキャンプを一度も経験せずボーイに上がる子供もいる。何とか宿泊の活動ができないものか現在考え中です。またくまスカウト諸君キャンプはボーイに行ってから大いに楽しんでもらいたいです。

来年こそはコロナが収束し普通にキャンプができる環境になることを心より願います。

カブ隊 隊長 清水



# ビーバー隊の広場

工作を試みよう やまもと かんた

かみひこうきや、クリスマスリースや、パズルがつくれてうれしかったりたのしかったです。  
クリスマスリースは、げんかんにかざりました。



B・P さい こうつき こうたろう

今日は、ベーデンパウエルさいでした。  
ベーデンパウエルさいでは、いろいろなことしたり話を聞いたり、1 キロメートルを走ったりしました。とくに 1 キロメートルをはしるのは、よくできたと思いました。ベーデンパウエルさいはとても楽しかったです。



ハイキングにいこう！ ふくしま あかり

きょうはいきんぐにいったのしかったです。虫が、いっぱいいたけど、はなばちは、さされなくてよかったなとおもいました。はいきんぐで、あるくのが、つかれました。ゴールについたら、おかあさんがもっていた、おかしをたべておいしかったです。じゃんけんで、まけて、くやしかったけどやっぱりおやつはおいしいなとおもいました。つかれたけど、ちょっとまたそういう生活も、したいなとおもいました。



## 団・隊の活動予定(R2年1月~3月)

- 1月 3日 9時00分 新年拝賀式 神田神社
- 1月 25日 ビーバー隊 ゆきあそび
- 1月 19日 カ ブ隊 シーターポン作り
- 1月 18日 ボーイ隊 救急法
- 2月 11日 カ ブ隊 雪遊び
- 2月 23日 9時00分 BP 祭 児童文化センター
- 2月 23日 ボーイ隊 隊集会
- 3月 20日 カ ブ隊 くまスカウトを送る会
- 3月 22日 ビーバー隊 ハイキング
- 3月 28~29日 ボーイ隊 隊キャンプ スカウトハウス
- 3月 29日 9時00分 任命式及び入隊・上進式 児童文化センター

## 《編集後記》

いよいよ始まりますね、オリンピック。米子市ここにきてコロナ感染者急増、さらなる対策を。

編集委員：島田・渡部・清水・大村